



Newsletter No.90 2013.2.25

ronniandpopoki(at)gmail.com

<http://popoki.cruisejapan.com>

寒い!!!でも、もう少しで春が来ますね。

Popoki's Hot News!



美術鑑賞 & ポー会！

3月7日にてしにゃんせんせいのご指導のもとで美術鑑賞の勉強をします。この勉強を今後のポーポキ友情物語活動などに活かしていきたいです！みなさんもよかったですらどうぞ。(詳しくは本号p. 6を参照)。



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのアスタにゃんから、届いた平和：

「私の体の調子が悪いと聞いた友人が、神社に行って私の健康のために祈りました。このような素晴らしい友だちがいることを知っていた時に平和を感じます：)」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



New! 東日本大震災 伊藤陽子写真展

3月8日～10日 京都市国際交流会館 左京区栗田口鳥入町2-1

9:00～20:00 詳細:今村裕子さん 090-2701-3614 (p.6を参照)

岩手県大槌町に住んでいる写真家、伊藤さんは、ポーポキの友人(ポーポキ通信 89号のインタビューを参照ください！)



いつもご協力、ありがとうございます！

「ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅」(エピック 2012)はお陰様で好評です。ぜひ広めていただきたいと思います！

*神戸 YMCA でも販売していますよ！

本については、<http://popoki.cruisejapan.com/monogatari.html> をご参照ください。

ポーポキと一緒に平和を創り出す集会～映像で考える平和～

西山朗

(神戸大学大学院国際協力研究科修士課程一年)

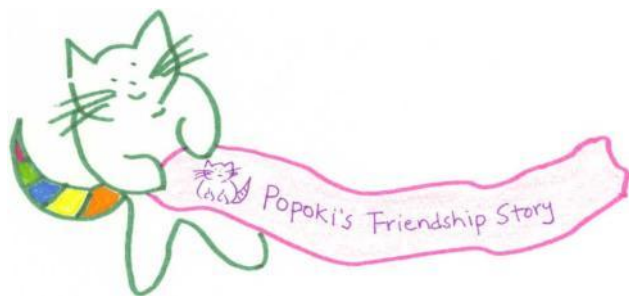


2013年2月2日、私たちポーポキ・ピース・プロジェクトは神戸三宮 YMCA 及び YWCA と共催で映画祭を開催いたしました。昨年度も開催したこの映画祭、今年度は約20名の参加者の皆さまと3つの映画を鑑賞し、ディスカッションをしました。

今回選んだ映画はユニセフと FAO が協力して制作した映画、『それでも生きる子供たち』から2作(「タンザ」、「アメリカのイエスの子ら」)と、『ACTING TOGETHER ON THE WORLD STAGE - Performance and the Creative Transformation of Conflict』です。前者は世界各国で紛争や HIV/AIDS に関する問題で苦しんでいる子供たちに焦点を当てた映画で、後者は、紛争地で働く平和活動家やアーティストが、アートを通して紛争後のトラウマや人々の負った傷を乗り越えようとする様子および異なる人々の間の相互理解を促進しようとする様子に焦点をあてたドキュメンタリーです。

最初はなかなか進まなかったディスカッションでしたが、最後の作品のあとには活発に意見が交換され、様々な意見を聞くことが出来ました。特に後者の映画の内容は、我々ポーポキ・ピース・プロジェクトと手法を同じくするため、より多くの意見が交わされました。「アートは人々の間に“共感”を生み出すツールだ。」、「アートには上下関係がない。」、「アートは五感を用いる。」など、アートは他の手段と異なる方法で人々をつなげることが再確認出来ました。「人のところに響くのであれば、その方法は言語でなくてもいい。」という活動家の言葉がところに響きました。





～東北からのメッセージ～

インタビュー： 東梅洋子さん

担当：谷口太郎、西山祐介

岩手県大槌町出身で詩人。地震、津波が来たときは大槌にはいなかった。被災者の方たちから話を聞くボランティアに関わっている。現在は朗読会や同人誌などの詩誌を通して活動を行っている。飲み屋の通りや大槌町駅周辺に東梅さんの親戚の家があった。震災後はその周辺に入りづらかったのだが、今回を機会にその親戚の家を訪れた。親戚のなかにはまだ見つからない方もおり、現在搜索願を出している。



Q. いつから詩を書き始めたのですか？

A. 高校生の時に仲のいい子数人で書き始めました。ただ、それは本格的なものではなく、どこかで発表する事ありませんでした。

Q. 震災後に詩を書く姿勢は変わりましたか。

A. 震災前は自然と文字が出てきてそれを詩にしていました。いまは、被災地に行って実際に触れてみて、ここに生きていた人はこういう風な生活をしていたのではないか、というようなことをイメージしています。

地震が来て津波が来て、涙が出てびっくりして、それでペンを走らせて書いて群読してもらって、あれよ、あれよと、本を出すことになりました。

Q. 震災後に大槌町を訪れた時に見た光景を色で表すと何色ですか？

A. 茶色。アスファルトがめくれていて土が見えていました。道路が道路ではなかった。それに、火事で焼けた木も茶色でした。

Q. 津波後を色で表すと何色ですか？

A. 地震や津波の来る前の大槌町を色に例えるような意識はありませんでした。しかし、地震・津波の後では『群青色』に感じます。理屈ではなく、青は冷たいけど暖かい。いまではその色が好きになりました。

Q. 震災から一年半余り経ちました。春・夏・秋・冬と季節が過ぎましたが、やはり、茶色から色は変わっていますか？

A. いくらか草が生えたりして、色は変わっています。もちろん四季の移り変わりはあります。ただ単純な四季というより、震災後の四季ではないかと思います。

Q. 詩を通して自分の思いを伝えていかれていることに感動します。どんな風な反応が返ってきますか？

A. 詩は読む人によってその反応が違います。何とも感じない人もいるし、涙を流してくれる人もい

る。泣いてもらおうと嬉しいと言えはおかしいけれど、心に届いて涙を流してくれるのであれば、やはり嬉しい。心に届いてほしいです。

詩は色と同じです。もしもキレイだなと思ってくれる人がいたら嬉しいです。

Q. これから大きな防波堤が作られていくようですが、どのように感じますか？

A. 高い防波堤があることが安心ではないと思います。高い防波堤があると海が見えません。音もしない。もしかすると、急に防波堤がぶち破られて津波が襲ってくるかもしれないという不安があります。

Q. ボランティアとして東北の方へやってくる人たちは地元の人たちからするとどう捉えられていますか？

A. 人によって意見は違います。前には誰もたずねてこなかったのに、今では沢山の人が話を聞いてくれると言って喜んでくれる年輩の方たちもいます。いろいろな事情があって家から出られない人たちがたくさんいて、そういう人たちの中には話を聞いてほしいと思っている人がたくさんいます。だから、そのようなお宅に話を聞きに行く事は大切だと思います。反対に普段通りの日常に戻りたいと言っている人たちの中には、ボランティアの人に対していい気持ちを持っていない人たちもいます。



Q. ボランティアに来た人たちに何か気をつけてほしいことありますか？

A. 人に対する配慮の気持ちを忘れないでほしいです。被災者の人たちは心に深い傷を負っている人が多い。なので、その傷に触れてほしくない人もいるし、反対に話したい人もいますので気をつけてほしいです。

最終的に1つでもいいから笑わせる事が出来たらそれでいいと思います。

Q. 日本や、海外にいる人たちにメッセージをお願いします。

A. 「忘れないでください」原発にしろ、いまある現状にしろ、何にしろ、忘れないでください。過ちを繰り返さないでください。



—東梅洋子さんが綴った数々の想いが詩集となって、2013年2月25日に発売されます。詳細は来月のポーポキ通信でお伝えする予定です。その詩集の中でインタビューでは伝えきれなかった東梅さんの魅力や、言葉を媒介して伝えたい“生きた想い”などなど、「何か」を感じ取ることが出来るかもしれません—

* ポーポキのお友達「小林波子にゃん」をご紹介します～す *

2月11日、岩手県の大槌町にて... (小林波子にゃん、ポーポキ、スザンカにゃん)

「ポーポキ、ポーポキ! 見てえ～ここにはいっぱい色々な素敵なお店が並んでいますね～☺」

「そうですね。ここは大槌町の福幸きらい商店街というところなのよ～スザンカにゃん。」

「ええ～? ふく...ふく...福幸きらい商店街って?」

「少し難しい言葉ですね。福幸きらい商店街は、震災後にここの大槌北小学校の校庭にオープンした仮設商店街ですよ。」

「ああ～そういうことですね。しかし、とても広くて本当に色々なお店がありますね。」

「本当にそうですね。商店街には今およそ40店舗が入っていて、大槌町の仮設商店街の中でも最大なものでありますよ。」「すごいですね～。ポーポキ! さっそく入ってみませんか?」

このように、ポーポキとスザンカにゃんは福幸きらい商店街をグルグル、そしてウロウロしていました、そのとき...。「スザンカにゃん、シフォンケーキは好きですか?」「シフォンケーキ? だ～い好きです!」「では、良いところへ連れていきます。ポーポキのお友達である小林波子にゃんの手作り工房シフォンで～す。」



「お久しぶりです。どうぞ、ごゆっくりおかけください。とりあえず、コーヒーでも入れますね。」

小林波子にゃんはいつもの優しい笑顔で迎えていただきました。「うあ～素敵なお店ですね。とてもアットホームな感じですね。可愛いパンが色々、お得なランチセット、そしてお店の定番～どれも食べたくなるシフォンケーキですね。これはすべて、手作りですか??」



「はい。私が作っていますよ。お菓子作りが昔から大好きで...」

小林波子さんは昔からお菓子作りが大好きでした。津波が来た時も、大槌町のショッピングセンターでパンを焼いて働いていました。

「津波が来たときは...?」

「急に真っ暗...高いところ! 高いところ逃げなきゃ～! という言葉は思い出に残ります。」

小林さんは無事でしたが、小林さんの故郷大槌町は波の下で静かに眠りました。街のほぼ全体が流されてしまって...「全てを失ったと感じま

したね。何より「人生のやる気」をなくしてしまいました。これではもう立ち上がれないじゃないかな
〜と長い間深く考えていました。」

「本当に悲しかったでしょうね〜その後どうなりましたか？」「実はその時、あることが起こりました。
知り合いの方が訪問されて、こういう言葉をいわれました：

「全部流されて〜レシピも機械も、全て失ったかもしれませんが、一つだけ残っています・・・
あなたの腕！必ず思い出しますから、ぜひまた皆さんが愛して止まないパンを焼いてください。」

ということでした。」「素敵なお言葉ですね。それは、励みになりましたよね〜。」

それでも、あまり勇気がなかったとおっしゃる小林さんは「実はその時ちょうどタイミングよく、私の
誕生日もあって、息子が誕生日プレゼントで赤いバラの花束を送ってくれました。」

「それは、とっても嬉しいですね〜」「はい、それに凄く喜んでやる気が出ました！」

小林波子さんは大槌町の仮設商店街で「シフォン」という手作り工房のカフェを立ち上げました。

「では、せっかくですから今日からまた復活したメニューを食べてみませんか？」

「食べた〜い！」「食べた〜い！」「...「ええ〜何これ・・・なんですか？」「抹茶シフォンですか？」

「抹茶っぽいでしょう。でも違います。これは、
ワカメで出来たシフォンです。」

「ワカメ？すご〜い！なんらか、大槌らしい〜」

「中には小豆も入っていますね。」

「そうです。小豆とのハーモニーがとても美味
です。どう〜ぞ。」

「いただきま〜す。」「いただきます。」「海の香
りがしますね。でも味は...甘〜い！」「うあ〜あ、
スポンジは滑らかで、柔らかくて、舌の上でと
けるような〜そして、小豆の甘み...このシフ
オンは最高〜お〜！ポーポキ、にゃん子達にも
買っていきましょう。」

「では、そろそろ失礼します。」「もう〜帰るんですか？寂しい...また、来てくださいね。」

「もちろん！また来ます！」「神戸にも遊びにきてください。いつでも、お待ちしております。」

「ポーポキ！大学に、小林波子にゃんのシフォンがあればいいのにな〜絶対学生いっぱい来るし、も
う毎日満席で、スザンカもいつでも食べれるし...」「ハハハ...それは、贅沢だね〜」



「手作り工房シフォン」〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌 239 C 棟 TEL.080-1854-2269

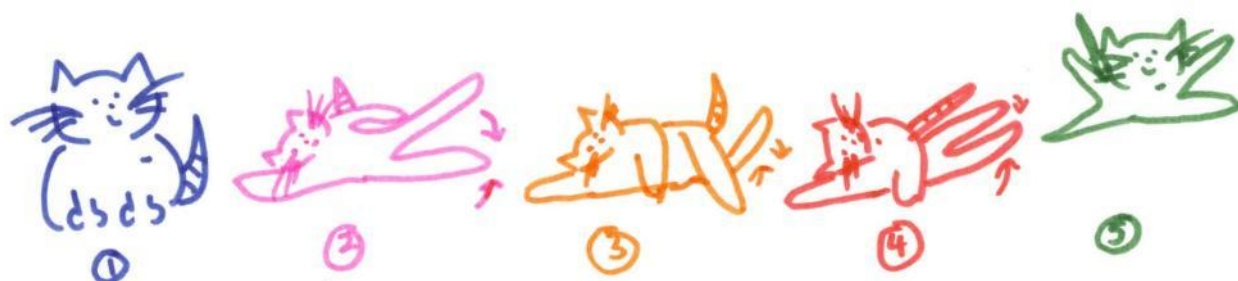
手作りパン、シフォンケーキ、ランチセットなどで〜一つ一つ心込めて、手作りのもの。懐かしい大
槌の味と思うお客さんも、初めて大槌町に足を運んできたお客さんも、小林波子さんが優しく大
きな笑顔で迎えてくれます。ぜひ、お立ち寄りください。

*** 小林にゃんは 3 月 4 日(もしくは 11 日)午後8:00からNHK総合テレビの「鶴瓶の家族に乾
杯！」にでます！小林にゃんは取材をずっと断っているけれど、この番組を引き受けたのは、遠
くにいる友だちが元気である彼女を観て安心できると考えるからです。ぜひ観てね！**

ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 57

今月のポガのテーマは、ちょっとハードです。骨盤と足を鍛えますが、マイペースで楽しんでね。



1. いつものように、背筋を伸ばし、自分を細く見せながらちゃんと座りましょう。
2. さて、足をのばし、横になりましょう。上の足をゆっくり45度程度に上げて、下ろす。20回してから反対の足もどうぞ！
3. 次に、上の足を前に持ってきて、下の足を上げて、下ろす！これも20回してから反対！しっぽも一緒にあげると楽ですよ。
4. 最後に、両足をあげましょう！無理をしないでね。20回が終わったら、反対の方もどうぞ。
5. できた？では、「できたポーズ」をどうぞ！

お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



- 次回のポー会** **3月7日** 神戸ゆかりの美術館 (受付で集合) 17:30~
2013.3.3 ポーポキ at ロータリひょうご県地区 (兵庫県神戸市ポートアホテル)
2013.3.7 (予定) てしにゃんとポーポキによるアート鑑賞(神戸ゆかりの美術館、17:30)
参加したい方はポーポキの gmail へご連絡ください。
2013.3.22 ポーポキ at 国際ロータリ RYLA 会議 (香川県余島)

ポーポキの友だちからのご案内

- ・ 2.24-3.2 「リメンバー大槌」写真・企画展 交通会館2F ギャラリー
東京都千代田区有楽町 2-10-1 03-3212-2931 10:00-19:00. 無料。
- ・ 3.11-14 上記の写真は、立命館大学で展示される予定。
- ・ 3.8-10 「東日本大震災 伊藤陽子写真展」京都市国際交流会館 左京区粟田口鳥入町2-1 9:00~20:00 詳細 今村裕子 (いまむらゆうこ) 090-2701-3614
- ・ 6.15-16 第9回移動労働者と連帯する全国フォーラム・神戸 2013 甲南大学

Popoki in the News

ポーポキ通信のバックナンバー: <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「被災 秘めた思い描いて」「ひとと抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』 2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. "Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War." *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO: 66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える1・17 3・11、22面)
- K. Wada. "Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peace? Popoki, What Color is Friendship?" *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. "The Art of Healing"(Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 『「ポーポキ、平和って、なに色？」の背後にあるもの」(連載) とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで⑤(パレスチナについて)『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる！」 THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色？ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに・・・」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色？』『私のいち押し』奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- 「友情って・・・考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて～人間と、ねこと、そして自分と～」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色？」KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- 「友だちになってくれませんか？」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ！！プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組をクリック。番組CHの6CHをクリック。
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- 「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは？」Kumamoto YMCA News 10 Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞「人権宣言 兵庫から発信 全30条 イラストで表現 地元ゆかり6名がパネル制作」 2008.10.8. 10面
- 中国新聞「核廃絶への視点」2008. 7. 27 (核抑止論について・・・3時間！？！にわたる取材で一生懸命にポーポキのことを話したのに・・・。





私にとってのポーポキ

今回は、神戸 YMCA 国際ボランティア・リーダー会で活躍している木本友里さん（ルーツ）が書いてくれました。国際ボランティア・リーダー会は「平和」と「国際」をキーワードに、子どもや留学生を対象としたプログラムを行っているグループです。

「私にとってのポーポキ」

木本 友里

私にとって平和の色はオレンジです。朝を運んでくれる太陽、おいしそうなみかん、玄関の明かりの色。とてもほっとする色だと思います。

2月2日に開催された、ポーポキと一緒に平和を創り出す集会「映像で考える平和」に参加しました。普段、直面した事のない状況。選択の余地もなく兵士になってしまった子供、HIV感染した一家の葛藤の2本。決して当事者の気持ちにはなれないけど、状況や気持ち少しでも理解しようとした参加者の皆さんの意見は、様々で、感動しました。私一人では到底思いつきません。意見交換で、真っ白のキャンバスが色んな色に変わっていくようでした。

ポーポキは平和について考えるきっかけをくれました。

これからも沢山の活動を通じて、平和を考え、行動したい。

そして、自分のしっぽがポーポキのように虹色になればいいなと思います。



留学生交流会 みんな神社に！ 記念写真は、ヘビ？？？



チャリティラン 各国の国旗と衣装をアピールした子どもたちと

さらにご協力ください！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動しており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行します。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10カ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動をする予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の蘭をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)

<http://popoki.cruisejapan.com>



郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!